

<発行> 2017年10月  
 熊本県東京事務所  
 くまもとセールス課  
 〒104-0061  
 東京都中央区銀座5丁目  
 3-16 銀座熊本館  
 ☎03-3572-5021  
 (銀座熊本館HP)  
 www.kumamotokan.or.jp/  
 ©2010熊本県くまモン



熊本は、阿蘇や天草をはじめ  
 豊かな山河や豊饒な海に囲ま  
 れ、大自然がいっぱいです。  
 人々が自然の風土を敬い、  
 五穀豊穡や大漁を祈り、伝統と  
 文化を大切に守り育てています。  
 県下各地で、繰り広げられる主な  
 四季折々の「祭り」と、肥後っ子の  
 心意気をご紹介します。

### ①牛深ハイヤ祭り(天草市 4月第3土・日曜)



★場所…牛深市中心街  
 ★交通…(産交バス)本渡  
 バスセンターから牛深港

#### 熊本に威勢よく春を告げる「ハイヤ祭り」

江戸時代から続く「牛深ハイヤ祭り」は、全国40か所以上のハイヤ系民謡のルーツとされ「元祖ハイヤ節」といわれます。佐渡おけさや阿波踊りは、その代表格です。

海上交通の要所として栄えた牛深は、春には海産物などを運ぶ帆船が多く出入り、そこから北上する帆船に欠かせない「南風」が吹きます。九州ではこの南風のことを「ハエの風」(ハエ～ハエヤ～ハイヤ)と呼び、船乗りと女性たちが航海の安全を祈願し、謳い踊ったのが始まりです。

熊本に春を告げる風物詩として、毎年約3000人の参加者が、牛深の市街地を威勢よく練り歩き賑わいます。

★近隣スポット…ハイヤ大橋、やすらぎの湯、海中グラスボート、スキューバダイビング、魚貫・黒石、遠見山公園の夕日など

### ②山鹿灯籠祭り(山鹿市 8月15日～16日)



★場所…大宮神社～市内、山鹿小学校グラウンド

★交通…(産交バス)山鹿温泉 徒歩約20分

#### 灯籠を掲げた女性達が描く、幻想的な灯りの祭典

湯の街として賑わい、江戸時代は豊前街道の宿場町として栄えてきた山鹿市。今も往時の風情が色濃く残ります。

景行天皇巡幸に、松明の灯りでお迎えしたという伝説に由来し、古代から続く幻想的な灯りの祭典「山鹿灯籠祭り」。大宮神社の奉納灯籠からはじまり、頭上に紙と糊だけで作られた灯籠を載せた浴衣姿の女性たちが「よへほ節」のゆったりした調べにのせ優雅に舞い踊ります。ゆらゆらと重なり揺れる灯籠の灯りと、美しく舞う「千人灯籠踊り」で祭りのクライマックスを迎えます。

幻想的な世界へと誘う、熊本の夏の風物詩です。

★近隣スポット…明治の芝居小屋「八千代座」、夢小蔵、山鹿灯籠民芸館、豊前街道の街並み、県立装飾古墳館など

# 旬館だ!より

まってるモン!

祭り  
特集号

Vol.29

銀座熊本館

GINZA  
KUMAMOTOKAN

### ③藤崎八幡宮秋季例大祭(熊本市 9月)



★場所…藤崎八幡宮～熊本市中心街～新町

★交通…(市電、バス)通町筋、熊本交通センター

#### 壮観な神幸行列と、勢子達の「肥後っ子魂」が躍る

千年以上の歴史をもち、昔より肥後国一の大祭と称され、「放生会」「隋兵祭り」などと呼ばれ親しまれています。

宮遷式で幕を開け厳粛な行事が行われた後、祭りのハイライト神幸式を迎えます。早朝から神幸行列が始まり、神輿、鎧兜の隋兵、甲冑武者、獅子舞が続き壮観な一大絵巻を展開します。その後、馬追いの勢子(企業や高校同窓会など約70団体)が続き最高潮に達します。御旅所までの朝隋兵(出陣の構え)と、夕隋兵(帰陣の備え)からなり、市街地が隋兵一色に染まります。この祭りを境に秋風が吹いて朝夕が涼しくなることを「隋兵寒合」といい、熊本にも秋が到来します。

★近隣スポット…熊本城、新町界限、水前寺公園、県立美術館、伝統工芸館、くまモンスクエアなど

### ④八代妙見祭(八代市 11月22日～23日)



★場所…八代市中心街～八代神社～砥崎の河原

★交通…(鹿児島本線)JR八代駅 徒歩約20分

ユネスコ無形文化遺産  
(山・鉾・屋台行事)

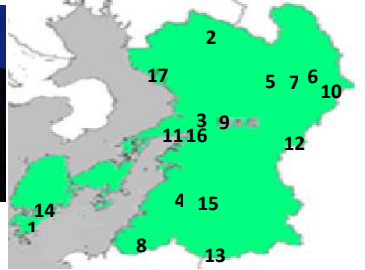
#### 豪華華麗な神幸行列に続き、獅子や亀蛇が舞う

九州三大祭りの一つ「八代妙見祭」(やつろみょうけんさい)。異国情緒あふれる豪華さと、時代絵巻さながらに静と動が織りなす伝統文化を今に伝えます。江戸時代、武士中心の祭礼から町衆・百姓衆も参加して、大衆で楽しむ祭礼へと発展してきました。旧城下町から奉納される豪華絢爛な笠鉾、獅子舞、花奴、木馬、飾り馬、そして妙見神が乗ってこられたという亀蛇が延々と続き、八代神社から御旅所の塩谷八幡宮へのお下りと、翌朝、メインのお上り行列が粛々と展開されます。その後、砥崎の河原にて、亀蛇や飾り馬の演舞が披露されると、祭りはフィナーレを迎えます。

★近隣スポット…八代城址、市立博物館、松浜軒、春光寺、古麓、日奈久温泉、五家荘平家の里、吊橋、石匠館など

# くまもとのまつり





くまもとに  
来てほしい  
モン!

# 祭り

田の神さ〜ん、水の神さ〜ん  
山の神さ〜ん、海の神さ〜ん  
今年もありがとう!

※所要時間は目安です。  
時間帯や曜日によって異なります。

## 春

### ⑤火振り神事(阿蘇市 3月)

熊本の三大火祭りの一つで、神々が結ばれることにより、作物が生まれるという豊饒を祈る農耕祭事です。阿蘇神社の境内では、神様の結婚式が行われ、松明を振り回して姫君をお迎えします。炎が幾重にも重なり幻想的です。観覧客も火振りができます。



★場所…阿蘇神社 ★交通…(やまびこ号バス)JR宮地駅前 徒歩約10分

### ⑥ゴールデンウィーク神楽特別公演(阿蘇市 5月上旬)

天の岩戸に隠れられた天照大神に出てきてもらうため、天鈿女命が舞いお迎えしたという神楽。豊後から伝わった神楽が集落で大切に守られ、神話をテーマに三十三座で構成されます。道の駅波野「神楽苑」では、「中江神楽保存会」と「横堀神楽保存会」により、天のメヤ岩戸開きなど奉納されます。阿蘇の山々に、笛や太鼓のリズムがごだまし感動的です。



★場所…道の駅波野「神楽苑」  
★交通…(やまびこ号バス)笹倉 徒歩約10分

## 夏

### ⑦おんだ祭り(阿蘇市 7月)

「御田植神幸式」と呼ばれ、苗の生育を見て回る、阿蘇神社祭礼の一つ。阿蘇の青田を、神々の昼食を頭に載せた白衣の宇奈利(うなり)、獅子、田楽、早乙女などが田歌に合わせ、ゆっくり進む神幸行列です。古式ゆかしい絵巻を見ることができます。



★場所…阿蘇神社周辺  
★交通…(やまびこ号バス)JR宮地駅前 徒歩約10分

### ⑧恋龍祭(水俣市 7月)



不知火海に浮かぶ伝説の島恋路島と、山の神龍神さんから命名され、水に感謝し、漁業、農業、商工業の発展を祈願する水俣最大の祭りです。

★場所…水俣市中心街  
★交通…(九州新幹線)新水俣駅 徒歩15分  
(肥薩おれんじ鉄道)水俣駅 車で5分

### ⑨火の国祭り(熊本市 8月)

熊本の夏を彩る火の国祭り。メインイベント「おてもやん総踊り」は、熊本を代表する民謡「おてもやん」の軽快なリズムに合わせ、約60団体5000人の踊り手が市内中心部を踊り歩きます。「サンバおてもやん」など、夏の夜が熱気にあふれます。



★場所…熊本市中心街(上通・下通・新市街) ★交通…(市電・バス)通町筋



⑩風鎮祭(高森町 8月)  
約250年の伝統を守り、風を鎮め五穀豊穡を願う祭り。風鎮太鼓の奉納や高森にわか、日用雑貨を利用した造り物が町内を練り歩く「山引き」が見ものです。

★場所…高森町中心街  
★交通…(産交バス)高森中央

## 秋

### ⑪不知火海の火まつり(宇城市 9月)旧暦8月1日

不知火海にほんの数時間だけ現れる神秘的な火「不知火」。景行天皇巡幸の折、闇夜の中に光る不思議な怪火に導かれ無事に辿り着かれたという、不知火伝説を受け継ぐ歴史とロマン漂う海の火祭りです。



★場所…永尾神社 ★交通…(鹿児島本線)JR松橋駅 車で約20分



### ⑫八朔祭(山都町 9月)旧暦8月1日

山の神に感謝し豊作祈願と商売繁盛を願い、巨大な造り物で有名な祭り。竹や杉、シュロの皮など野生に自生する植物を材料に、世相を風刺したものや人物、動物など、各商店街が工夫を凝らし競い合います。その迫力は圧巻です。

★場所…浜町周辺 ★交通…(熊本バス)浜町

### ⑬人吉くんち祭り(人吉市 10月9日)

国宝「青井阿蘇神社」で行われる人吉・球磨地方最大の秋の例大祭「おくんち祭り」。9日に行われる御神幸行列、神輿、獅子舞、神馬、稚児の長い行列が人吉市街を練り歩きハイライトを迎えます。鬼木の臼太鼓踊りなど郷土芸能も披露されます。



★場所…人吉市中心街 ★交通…(肥薩線)JR人吉駅

### ⑭海を渡る祭礼(天草市 10月第4土日)



海に浮かぶ無人島の産島八幡宮大祭は、産島から対岸のお宮へと、ご神体が船で移動することから「海を渡る祭礼」と呼ばれます。安産の神、海上交通の神として崇められ、島から出て「お下り」されたご神体は、対岸の十五社宮で一泊され、翌日再び海を渡って「お上り」。その際、大漁旗で飾られた船団が随行する海上神幸の様は美しく壮観です。

★場所…河浦町 産島 ★交通…(産交バス)上平

### ⑮紅葉祭・古代の里祭り(八代市 11月)

県下の紅葉スポットで、山々に囲まれた仁田尾、葉木、久連子、椎原の五家荘一帯で紅葉狩りが楽しめます。その中で、平家落人が都を偲んで舞った「久連子古代踊り」が披露され、黒く長い鳥の羽(ジャグマ)の花笠をかぶり、鐘や太鼓を叩きながら優雅に躍動的に踊ります。



★場所…平家の里、久連子神社  
★交通…(鹿児島本線)JR有佐駅 車で約90分

## 冬

### ⑯山王祭り(宇土市 12月)



山の神を祀る山王神社の使いが猿であることから、若者が猿に扮し、掛け声とともに、甘酒の徳利を奪い合います。甘酒にかかった人は、一年無病息災のご利益があるといわれます。

★場所…山王神社周辺 ★交通…(鹿児島本線)JR宇土駅 車で約20分

### ⑰的ぼかい(長洲町 1月第3日)

四王子神社の破魔弓祭。締め込み姿の男達が、無病息災や家内安全を願い、藁や麻で編まれた「的」を神社から寒中の有明海で奪い合います。勇壮果敢な小正月の習わしです。



★場所…四王子神社  
★交通…(鹿児島本線)JR長洲駅 車で約5分